

「日・メルコスール戦略的パートナーシップ枠組み」第1回会合
アスンシオン、2026年1月27日

討議概要

1 メルコスールと日本の代表団は、2026年1月27日にアスンシオンで、「日・メルコスール戦略的パートナーシップ枠組み」第1回会合を開催した。この枠組みの設立は2025年12月20日に行われ、双方の首脳レベルで高く評価され、歓迎された。

2 双方は、共通の基本的価値観と、開かれた、透明性のある、ルールに基づく多角的貿易体制へのコミットメントに基づく、友好的な関係を再確認した。メルコスールと日本は互いにとって非常に重要な経済パートナーであり、経済関係を深化・多様化させる大きな可能性を持っていることを確認した。

3 両代表団は、戦略的パートナーシップ枠組みが、貿易・投資に基づき、それを基盤とした長期的かつ包括的な視点から、協力をより高いレベルに引き上げる意図があることを想起しつつ、枠組みの実施について意見交換を行った。メルコスールは、経済連携協定（EPA）/自由貿易協定（FTA）交渉プロセスの立ち上げに高い期待を示した。

4 日本の代表団は、貿易・投資、サプライチェーン、デジタル経済、穀物の安定供給、エネルギー移行などの具体的な分野を含むメルコスールと日本の関係を強化するための協力可能性のある幅広い分野に言及した。メルコスールは、農産品の市場アクセスに加えて、透明で科学的根拠に基づく衛生植物検疫（SPS）措置を確保すること及びメルコスールと日本の間の技術協力を促進することへの関心を示した。メルコスールの代表団は、日本とメルコスールの間のこのような協力を、各国レベルの既存のイニシアティブと調和させることの重要性を強調した。

5 両代表団は、相互理解を深め、戦略的パートナーシップ枠組みを具現化するための具体的かつ相互に有益な道筋を探る手段として、継続的かつ建設的な対話を維持することの重要性を再確認した。両代表団は、それぞれの国内調整を経た上で、互いのコメントに対して、戦略的パートナーシップ枠組みの次回会合で応答することを決定した。

6 この文脈において、メルコスールと日本は、日時と場所を外交ルートを通じて設定の上、2026年3月末までに戦略的パートナーシップ枠組みの第2回会合を開催することを決定した。

アスンシオン、2026年1月27日